事務事業ID		2279		令和02年度		事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者		
事務事業名		観光でにぎわう魅力づくり事業						担当課	産業部商工観光課				
政策体系	政策	3							担当係	観光物産係			
	施策	3	集客資源の創出と充実						事業期間	H18 ~			
	基本事業	1	地域資源を活かした魅力の向上						事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
予算科目		会計	款	項	目	大事業							
		一般会計	7	1	4	観光物産振興事業費							
実施形態								全部委託					

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込む								
	最終	基本事業の目的	豊かな自然や優れた歴史的文化的遺産、地元特産品など、多彩な地域資源の可能性を最大限に引き出した本市ならではの魅力ある観光地づくりを推進します。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	観光客	②意図 (どのようになることを目指すか)	伊達市に興味を持ち観光に訪れる						
	初期	②①になるために必要な状態	観光客への受け入れ態勢の充実 観光PR								

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
指	アウトプット指標	観光入込客数	人	目標値	750,000	750,000	2,220,000	1,997,000	2,000,000	2,017,000
				実績値	662,370	2,045,717	1,940,774	1,722,481		
標	アウトプット指標	イベント参加数 (PRの場合)	回	目標値	25	30	32	32	18	18
				実績値	29	32	31	18		
				目標値						
				実績値						

【DO (実施)】

活動・アウトプット	事業概要	観光客受入れ体制の強化を目的に、観光案内所及び観光ポータルサイト「だてめがね」の開設・運営を行う。また、観光誘客を促進していくために、地域資源を活用したイベントの開催や首都圏や仙台圏を中心に特産品のPRなどを行う。								
	主な活動	令和02年度実績 (実施した主な活動) ①観光誘客推進 … 観光案内所及びポータルサイトの運営、来訪者向けデジタルガイドブックの作成 ②歴史観光プロモーション … 歴史観光ガイドブック「伊達800年ものがたり」の一部修正版増刷 ③地域資源活用 … 霊山新緑まつり、紅葉まつり、霊山フォトコンテスト開催 ④特産品・6次化商品等プロモーション … トヨタグループ関係者向けECサイトへの出展など ⑤市内回遊性向上・観光消費拡大 … ステージアップ方式の観光手帳を活用した観光周遊の仕組みづくり								

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	伊達市合併した平成18年より、伊達市の観光物産振興、観光イベントによる地域活性化、産品開発、伝統芸能の継承や伊達市への誘客促進に努めるなど地域経済活性化や交流人口の拡大を図ってきた。								
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画								
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	平成30年3月に道の駅がオープンして以降、市内観光入込客が大幅に増加した。令和2年度は全国的なコロナ禍の影響で、大型連休時期に道の駅などの市内観光拠点施設が臨時休館、通年で地域イベントが中止を余儀なくされたため、観光入込客数が減少した。令和3年4月には相馬福島道路全面開通となるため、今後は道の駅から市内への誘客を図る必要がある。								
	事業費	財源内訳	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)		
	国庫支出金	千円	0		0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0		0	0	0	0		
	地方債	千円	0		0	0	0	0		
	その他	千円	0		0	0	0	0		
	一般財源	千円	20,789	24,681	24,083	18,625	26,719	26,719		
	事業費計	千円	20,789	24,681	24,083	18,625	26,719	26,719		

事務事業ID	2279	事務事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業	所属課	産業部商工観光課
--------	------	-------	----------------	-----	----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源(霊山、希望の森)などを活用したイベントによる誘客、姉妹都市や友好都市等で開催されるイベントへの出展や交流などをに組み組んできた。本市PR効果などを検証する指標として入込客数調の値を使用している。 ・令和2年度は全国的なコロナ禍により、通年で誘客イベントが中止、市内観光スポットへの観光入込客が減少した。 ・観光物産PRについては、首都圏、姉妹都市や友好交流都市での物産展や企業マルシェが中止となったため、非対面式の物産交流や県物産館などでの販売・PRに組み組んだ。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本市PRだけでなく周辺自治体と連携した観光資源を活用して経済効果を出すことが観光では求められている。 ・インバウンドも含め交流や自然などの魅力を発信するだけでなく、ツアー造成などに繋がるような仕掛けが喫緊の課題となっている。 ・広域観光圏等の連携を含め、市内の魅力ある拠点を増やす必要がある。 ・道の駅に訪れる観光客を市内の観光拠点へと誘客し、市内の地域経済活性化につなげる。
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを踏まえた新たな観光戦略が必要。 ・体験型観光や市内周遊に向けたサイクルツーリズム等の導入に組み組む。 ・道の駅からの市内周遊や滞在時間の延伸につながる仕掛けとして、レンタサイクルの実証実験や観光周遊手帳の導入に組み組む

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者の移動手段として自転車を活用することで、各地域の観光拠点を基点に地域エリア内の回遊性を促進し、「点から点への観光」から「面的エリア内の観光」に繋げることで、「地域が稼げる観光」の実現を目指す ・委託内容の精査 ・PR方法の方向性 ・伊達市の売りを何にしていけるのか ・インバウンド対策
------	----	------------------	--

事務事業ID		1760		令和02年度 事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者
事務事業名		観光誘客促進事業				担当課	産業部商工観光課		
政策体系	政策	3	地域の魅力が輝くまちづくり			担当係	観光物産係		
	施策	3	集客資源の創出と充実			事業区分	事業期間	H27 ~	
	基本事業	1	地域資源を活かした魅力の向上				市単独事業・国県補助事業	市単独事業	
予算科目		会計	款	項	目	実施形態		一部委託	
		一般会計	7	1	4	観光物産振興事業費			

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込む		
		基本事業の目的	豊かな自然や優れた歴史的文化的遺産、地元特産品など、多彩な地域資源の可能性を最大限に引き出した本市ならではの魅力ある観光地づくりを推進する。		
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	市民・市への来訪予定者・来訪者	②意図 (どのようになることを目指すか)	伊達市に興味や関心を持ち観光に来訪する
	初期	②①になるために必要な状態	・魅力あるイベント等を提供し、市内に観光客を誘客する。		

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
				指	アウトプット指標	観光入込客数	人	目標値 750,000 実績値 662,370	750,000 2,045,717
標	アウトプット指標	イベント参加数 (PRの場)	回	目標値 25 実績値 29	30 32	32 31	32 18	18	18
				目標値 実績値					

【DO (実施)】

活動・アウトプット	事業概要	本市の観光資源を磨き上げ、多くの来訪者に本市の魅力を知ってもらうとともに、新たな観光誘客事業を行う。
	主な活動	令和02年度実績 (実施した主な活動) <ul style="list-style-type: none"> 伊達市へのマイクロツーリズム (近県からの短期宿泊旅行、日帰り旅行) 需要を喚起するため、仙台タウン誌や東北版観光フリーペーパーに観光PR記事を掲載 伊達市観光PRアニメ「政宗ダテニクル」公式SNSによる情報発信 伊達市アニメツーリズム実行委員会の開催

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	平成26年度のふくしまDCに併せて、市内への誘客効果を図る目的で開始された。更に、平成27年度からは本市固有の地域資源である「伊達氏発祥の地」として歴史観光について、従来の歴史ファンだけでなく、幅広い世代に発信するためにアニメ「政宗ダテニクル」を6話まで制作。							
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画							
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	名峰霊山や伊達家ゆかりの歴史資源を活用した観光誘客を行ってきたが、平成27年アニメを活用したアニメツーリズムにも取り組んだ。コロナの影響からアフターコロナを見据えた観光誘客事業が必要。							
	事業費	財源内訳	年度単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (予算)	04年度 (計画)
	国庫支出金	千円	0		0	0	0	0	
	都道府県支出金	千円	4,800	5,278	6,034	0	0	0	
	地方債	千円	0		0	0	0	0	
	その他	千円	0		0	0	0	0	
	一般財源	千円	27,495	9,181	3,794	3,617	2,332	2,332	
	事業費計	千円	32,295	14,459	9,828	3,617	2,332	2,332	

事務事業 ID	1760	事務事業 名	観光誘客促進事業	所属 課	産業部商工観光課
------------	------	-----------	----------	---------	----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅年間利用者126万人が利用 ・霊山や伊達家ゆかりの歴史観光
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の充実と受け入れ態勢の強化 ・東北中央自動車道を活用したマイクロツーリズムの取り組み ・コロナにより県外往来ができない。
対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・「伊達市ぐるっとパスポート」「サイクルツーリズム」のしくみを構築し、市内の観光拠点を経由しながら商店街へと観光客を回遊させる。

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「伊達市ぐるっとパスポート」「サイクルツーリズム」のしくみを構築し、市内の観光拠点を経由しながら商店街へと観光客を回遊させる。 ・関係・類似する「観光でにぎわう魅力づくり事業」との統合を今後検討していく必要がある。
------	--------	------------------	---

事務事業ID		1743		令和02年度		事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者
事務事業名		観光諸費		担当課	産業部商工観光課						
政策体系	政策	3	地域の魅力が輝くまちづくり		担当係	観光物産係					
	施策	3	集客資源の創出と充実		事業区分	事業期間	H18 ~				
	基本事業	1	地域資源を活かした魅力の向上			市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
予算科目		会計	款	項	目	大事業		実施形態			
		一般会計	7	1	4	観光諸費		直営			

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込む								
		基本事業の目的	豊かな自然や優れた歴史的文化的遺産、地元特産品など、多彩な地域資源の可能性を最大限に引き出した本市ならではの魅力ある観光地づくりを推進します。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	観光客	②意図 (どのようになることを目指すか)	観光拠点を訪れることにより、観光客が増える。						
	初期	②①になるために必要な状態	魅力ある観光パンフレット作成し、市内外・首都圏へPRする。								

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
				指	アウトプット指標	観光入込客数	人	目標値 750,000 実績値 662,370	750,000 2,045,717
標	アウトプット指標	イベント参加数 (PRの場)	回	目標値 25 実績値 29	30 32	32 31	32 18	18	18
				目標値					
				実績値					

【DO (実施)】

活動・アウトプット	事業概要	市の観光名所や特産品を県内外の方々にPRするため、観光パンフレットの作成や姉妹都市イベントに参加する。								
	主な活動	令和02年度実績 (実施した主な活動) ・伊達市観光パンフレットや霊山登山マップ等を配布することでPR活動を実施した。 ・令和3年度の相馬福島道路全線開通、東京オリンピック・パラリンピック、東北DCに向けた観光ガイドマップと霊山登山マップのリニューアル、伊達氏800年ものがたり英語版を作成した。								

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	5町が合併し伊達市が誕生した平成18年から、当市の魅力を全国に発信するために開始された。								
	根拠法令・要綱等				関連する個別計画					
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	観光入込客数は、道の駅の開業により増加した。 新型コロナウイルス感染症の影響から、観光イベントや県外往来が難しいことから、新たな観光誘客事業の検討が必要。								
	事業費	財源内訳	年度	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (予算)	04年度 (計画)	
	国庫支出金	千円	0		0	0				
	都道府県支出金	千円	0		0	0				
	地方債	千円	0		0	0				
	その他	千円	0		0	0				
	一般財源	千円	6,802	5,657	5,638	5,297	5,061	5,061		
	事業費計	千円	6,802	5,657	5,638	5,297	5,061	5,061		

事務事業 ID	1743	事務事業 名	観光諸費	所属 課	産業部商工観光課
------------	------	-----------	------	---------	----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	伊達市観光パンフレットは複数あり、入込客数の増加に伴い、印刷部数も伸びている。 また、多言語パンフレットの配布も開始している。
課 題	新型コロナウイルス感染症拡大により、観光イベントや県外往来が出来ない。
対 策	観光情報に加えて物販も出きるECサイトを拡充し、アフターコロナを見据えた取り組みを強化する。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	観光という目線だけではなく、「伊達市」を全国へPRするためにも、効果的なPR方法の検討を進める。
------	----	------------------	--

事務事業ID		2583		令和02年度		事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者
事務事業名		道の駅管理運営事業		担当課	産業部商工観光課						
政策体系	政策	3	地域の魅力が輝くまちづくり		担当係	観光物産係					
	施策	3	集客資源の創出と充実		事業区分	事業期間	平成30年度 ~				
	基本事業	2	観光客の受入体制の充実			市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
予算科目		会計	款	項	目	大事業		実施形態			
		一般会計	7	1	4	道の駅管理運営事業		指定管理			

PLAN (計画)

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込む								
		基本事業の目的	市民を含めた多様な主体との連携により、地域ぐるみで観光客を温かくもてなす体制の充実を図ります。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	道の駅利用者	②意図 (どのようになることを目指すか)	道の駅で伊達市内の特産品を購入したり、飲食をする。道の駅を観光のハブとし、市内の観光拠点を訪れる。						
	初期	②①になるために必要な状態	指定管理者である一般社団法人りょうぜん振興公社を中心に市が協力し、イベント等により集客を図り、市の魅力をPRする。さらに、道の駅から市内の観光拠点へお客様を誘導する。								

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
指	アウトプット指標	道の駅来客数	人	目標値	45,000	540,000	1,510,000	1,290,000	1,303,000	1,316,000
				実績値	77,936	1,503,342	1,261,694	1,197,874		
標	アウトプット指標	出店・納品者数	人	目標値	220	220	230	240	240	240
				実績値	225	225	240	248		
				目標値						
				実績値						

DO (実施)

活動概要	事業概要	一般社団法人りょうぜん振興公社が指定管理者となり道の駅「伊達の郷りょうぜん」を運営しており、市と協定を結んでいる。道の駅は、24時間利用できる駐車場・トイレなどの「休憩施設機能」の他、レストランや市の物産の販売やイベント等を行い市の特色や個性をPRしている。								
	主な活動	令和02年度実績 (実施した主な活動) <ul style="list-style-type: none"> 来場者300万人達成記念セレモニー (6/20) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う全館休業 (4/29~5/10)、時間短縮営業 (5/11~5/31) 県内道の駅初となるオムツ自動販売機の設置 桃狩り体験 阿武隈川上流自治体特産品フェア (10/16~18) 秋の味覚フェア (10/24~11/3) 新しい生活様式に対応した施設改修 (自動ドアへの改修、サーマルカメラ設置、飛沫感染防止設備設置外) 伊達市観光案内看板 (広域大型案内看板) の設置 								

現状把握

現状・インプット	事務事業を開始した理由		相馬福島道路を活用した賑わいの拠点づくり								
	根拠法令・要綱等		地方自治法第244条の2第3項 伊達市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例			関連する個別計画					
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)		想定入込客数は年間54万人としていたが、H30年3月の事業開始後から190日目で100万人を突破し、H30年度の実績は150万人を超えた。R元年度は126万人利用、R2年度は新型コロナ禍での臨時休業や短縮営業を余儀なくされたが、前年度並みの119万人利用となった。								
	事業費	財源内訳	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
単位			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)			
国庫支出金			千円			0	0	0	0		
都道府県支出金			千円			0	0	0	0		
地方債			千円			0	0	0	0		
その他			千円		4,104	1,888	1,900	1,700	1,700		
一般財源			千円		74,693	64,761	62,749	56,550	56,550		
事業費計	千円	-	78,797	66,649	64,649	58,250	58,250				

事務事業 ID	2583	事務事業 名	道の駅管理運営事業	所属 課	産業部商工観光課
------------	------	-----------	-----------	---------	----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	道の駅伊達の郷りょうぜんは、年間100万人以上が利用する本市を代表する集客施設となり、市内観光周遊や地域の賑わいの拠点、市産品のPR・販売の場として定着した。指定管理者においても、地域との連携イベントや季節ごとのイベント、商品開発などを積極的に行って誘客に努めている。 令和2年度は全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、臨時休業や短縮営業を余儀なくされ、入込客数は減少したが、贈答品向けの商品開発やPRを図ったことで、客一人当たりの売上単価が向上した。また、新しい生活様式に対応した施設改修や通信販売サイトの構築など、利用者の感染防止や新たな顧客層の獲得に向けた取組みを行った。
課 題	令和3年4月の相馬福島道路全線開通に伴い、霊山インターチェンジが通過点となり、道の駅の位置づけも大きく変化する。入込客が減少しないための魅力ある「道の駅」の経営を検討する必要がある。 道の駅を市内回遊の拠点として、相馬福島道路を活用した市内回遊、滞在時間の延伸、観光消費の拡大に繋げるかが課題。
対 策	今後は道の駅における取組の強化が必要であり、新商品の開発や交流都市並びに他の道の駅とのネットワークを活用した物販の強化、季節ごとのイベントの充実、さらには、いちご狩り体験や桃狩り体験などの体験メニューなどの伊達の郷りょうぜんの強みを積極的にPRし、全線開通後の利用者増加を図っていきたい。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	道の駅からの市内周遊や滞在時間の延伸につながる仕掛けとして、レンタサイクルの実証実験や観光周遊手帳の導入に取り組む
------	----	------------------	---

事務事業ID		1764		令和02年度		事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者
事務事業名		りょうぜん紅彩館運営事業		担当課	総務部霊山総合支所						
政策体系	政策	3	地域の魅力が輝くまちづくり		担当係	地域総務係					
	施策	3	集客資源の創出と充実		事業区分	事業期間	～				
	基本事業	2	観光客の受入体制の充実			市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
予算科目		会計	款	項	目	実施形態		指定管理			
		一般会計	7	1	4	りょうぜん紅彩館管理運営費					

PLAN (計画)

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込む								
		基本事業の目的	市民を含めた多様な主体との連携により、地域ぐるみで観光客を温かくもてなす体制の充実を図ります。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	りょうぜん紅彩館の利用者	①意図 (どのようになることを目指すか)	りょうぜん紅彩館の利用客に満足してもらう						
	初期	②①になるために必要な状態	りょうぜん紅彩館を利用した人を満足させることで、周辺の施設のこどもの村、コテージや霊山登山の来客の増加も期待できる。伊達市外からの利用者を拡大し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込む								

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
				指標	利用者数	人	目標値	13,000	13,000
実績値	12,754	13,738	12,820				9,296		
市外からの宿泊者数	人	目標値	2,000		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値	1,495		1,371	1,058	343		
			目標値						
				実績値					

DO (実施)

活動・アウトプット	事業概要	りょうぜん紅彩館の管理及び施設修繕 1. 紅彩館指定管理料 2. 施設修繕費								
	主な活動	令和02年度実績 (実施した主な活動) 「りょうぜん振興公社」と平成31年度 (令和元年度) から令和3年度までの基本協定締結を行い、年度協定を締結し委託料の支払・施設の維持管理修繕・指定管理者との連絡調整を行った。 指定管理によりりょうぜん紅彩館の適正管理と地域物産の展示販売を行うとともに、紅彩館のPRと利用者の拡大を図った。								

現状把握

現状・インプット	事務事業を開始した理由	霊山に観光や登山に来て、麓に宿泊休憩施設がなかったことから、平成12年に施設の整備を図った。地元農産物の宣伝販売、農業体験、自然資源を活用して都市との交流を図ることを目的として建築した。								
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画								
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	地元の同級会や登山後の入浴ができることで喜ばれている。シーズン中の予約希望に対し、客室が少ないため対応できない。放射線の影響と風評被害で一般客の利用者は激減したが現在は回復基調にある。施設老朽により頻繁な修繕を行っている。利用者が高齢化していることから椅子を使った食事スタイルを希望されるが椅子や机の準備が無いことから要望に応えることが出来ない。								
	事業費	財源内訳	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
単位			(実績)	(実績)	(実績)	(見込値)	(予算)	(計画)		
国庫支出金			千円	0	0	0	0			
都道府県支出金			千円	0	0	0	0			
地方債			千円	0	0	0	0			
その他			千円	0	2,484	0	2,860			
一般財源	千円	22,594	22,445	28,379	27,417	26,622	26,622			
事業費計	千円	22,594	24,929	28,379	30,277	26,622	26,622			

事務事業 ID	1764	事務事業 名	りょうぜん紅彩館運営事業	.000 0000	総務部霊山総合支所
------------	------	-----------	--------------	--------------	-----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	りょうぜん振興公社に指定管理により管理を委託して、霊山という自然環境を活用し、施設管理や事業を実施することにより効率的に運営されている。
課 題	①事業評価については、理事として支所長が逐次運営を評価しているものの事業評価書として書類上の点検確認及び次年度への反映がされていない。 ②開設以来19年を経過していることから施設の老朽化が目立つ。また、利用者は高齢化が目立ち食事スタイルも椅子利用を要求されていることからその対応が喫緊の課題である。
対 策	①事業評価について、マニュアルを作成し実施する。 ②老朽箇所の再確認とともに先回り修繕化を行う。高齢用者に対応できる椅子と机を導入する。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	伊達市の観光の目玉である「霊山」の麓にある宿泊・休憩施設であり、今後とも継続して管理運営に努める。施設もバリアフリーも含め、改修の必要がある。
------	----	------------------	---

事務事業ID		1457		令和02年度		事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者
事務事業名		霊山こどもの村管理・施設整備事業		担当課	総務部霊山総合支所						
政策体系	政策	3	地域の魅力が輝くまちづくり		担当係	地域総務係					
	施策	3	集客資源の創出と充実		事業区分	事業期間	～				
	基本事業	2	観光客の受入体制の充実			市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
予算科目		会計	款	項	目	大事業		実施形態	指定管理		
		一般会計	3	2	4	霊山こどもの村管理費					

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込む								
		基本事業の目的	市民を含めた多様な主体との連携により、地域ぐるみで観光客を温かくもてなす体制の充実を図ります。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	こどもの村来園者	①意図 (どのようになることを目指すか)	施設を利用し体験活動を楽しむ。 こどもの村自主事業(ワークショップ)に参加し、物事への関心を深める。						
	初期	②①になるために必要な状態	こどもの村園内の施設を良好な状態に保つ こどもの村への来園者に楽しんでもらい、子どもの健全育成に役立てる。								

指標	区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
					来園者数(人)	人	目標値	21,000	21,000	21,000
自主事業(ワークショップ)参加者数	人			目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
				実績値	9,928	7,801	7,822	8,045		
				目標値						
				実績値						

【DO (実施)】

活動・アウトプット	事業概要	◎霊山こどもの村にかかる管理および整備 指定管理料 施設修繕費	
	主な活動	令和02年度実績 (実施した主な活動) 「りょうぜん振興公社」と平成31年度基本協定を締結し委託料の支払・施設の維持管理修繕・指定管理者との連絡調整を行った。 指定管理により霊山こどもの村の適正な管理を行った。	

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	霊山という自然環境の豊かなところで、子どもたちにのびのび楽しんでもらうために昭和47年に施設整備を図り、充実拡張に努力をしてきた。子ども育成に貢献している。								
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画								
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	県立自然公園の中で、子どもたちを遊ばせることができ、小学校の野外学習などにも利用されている。原発事故による放射能の影響で来園者が極端に減少したが回復基調にある。小さな子どもを連れて行くにはまだまだ不安があるとの声もいまだ大きい。 開設以来46年を経過していることから子どもたちを受け入れる施設の老朽化が目立つ。霊山高原構想のスタートアップ事業として「子どもの物語ミュージアム」建設を進めてきたが議会の反対によりリニューアルに転換した。								
	事業費	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込値)	(予算)	(計画)			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0				
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	56	56	8	6,933	3,203	3,203		
	一般財源	千円	27,062	26,920	31,477	32,244	31,218	31,218		
事業費計		千円	27,118	26,976	31,485	39,177	34,421	34,421		

事務事業 ID	1457	事務事業 名	霊山こどもの村管理・施設整備事業	所属 課	総務部霊山総合支所
------------	------	-----------	------------------	---------	-----------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	りょうぜん振興公社に指定管理により管理を委託して、霊山という自然環境を活用し、施設管理や事業を実施することにより効率的に運営されている。
課 題	①事業評価については、理事として支所長が逐次運営を評価しているものの事業評価書として書類上の点検確認及び次年度への反映がされていない。 ②開設以来47年を経過していることから施設の老朽化が目立つ。特に遊具関係は、子どもたちが直接利用することからその安全性の確保が重要である。
対 策	①事業評価について、マニュアルを作成し実施する。 ②遊具や園内施設の適切な修繕管理を行う。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	伊達市の観光施設であり、今後とも適正な管理運営に努める。 こどもの村のリニューアル計画が予定され、誘客を図れる施設への改修が望まれる。
------	----	------------------	--